

「かながわ一斉イクボス宣言」一覧

【宣言文(以下の趣旨で2項目を記載)】

- ・私は、業務の効率化や柔軟な働き方、育児休業や休暇の取得促進等に積極的に取り組み、子育てや介護をしながら、生き生きと活躍できる職場を実現する「イクボス」になります。
- ・私は、自らも、仕事を充実させつつ、家族との時間も大切に作る「イクボス」になります。

職	氏名	宣言文(3項目以降)
知事	黒岩 祐治	私は、「イクボス」を増やすため、企業等への働きかけを積極的に行うなど、「企業も家庭も地域も元気な神奈川」の実現に向けて全力で取り組みます。
副知事	中島 正信	私は、「イクボス」を増やすため、県庁内で率先して取組を進めるとともに、企業等への働きかけを積極的に行い、「企業も家庭も地域も元気な神奈川」の実現を目指します。
副知事	浅羽 義里	私は、「イクボス」を増やし、職員一人ひとりが、仕事も家庭も充実させながら、いきいきと明るく、皆で達成感が共有できる組織づくりに率先して取り組むとともに、企業等へも積極的に働きかけ、「元気な神奈川」の実現を目指します。
副知事	首藤 健治	私は、「イクボス」を増やし、職員一人ひとりが働きやすい職場環境づくりに取り組むとともに、企業等へも積極的に「イクボス」を周知し、誰もが生き生きと活躍できる「元気な神奈川」の実現を目指します。
政策局長	高澤 幸夫	私は、職場での課題等の「言える化」やメリハリの利いた仕事が生産性の向上につながり、ひいては神奈川の活力の源泉になると信じています。引き続き、市町村や関係団体等との対話を通じて「イクボス」を増やしていけるよう全力で取り組みます。
総務局長	小坂橋聡士	私は、「働き方改革」に全力で取り組み、職員一人ひとりがいきいきと働き、笑いがあふれるような職場環境と、ワークライフバランスの実現をめざします。
くらし安全防災局長	花田 忠雄	くらし安全防災局は、いざという時に、県民の皆様のいのちを守るため、最前線での活動が求められます。だからこそ、私は、局内の管理監督者全員が「イクボス」として団結し、局職員全員が日頃から家庭や地域を大切にしたいうえで、迷いなく仕事に打ち込めるよう、その環境づくりに全力で取り組みます。
国際文化観光局長	河合 宏一	私は、誰もがお互いを思いやって笑顔で気持ちよく仕事に取り組めるとともに、ワークライフバランスにも配慮がされた職場環境づくりに率先して取り組みます。
スポーツ局長	平田 良徳	私は、スポーツ局の管理職全員に「イクボス」として積極的に働き方改革を進めるよう呼びかけ、職員一人ひとりの笑顔にあふれた家庭や職場づくりを進めます。
環境農政局長	石渡美枝子	私は、環境農政局において「イクボス」を増やし、職員の一人ひとりが、家庭と地域を大切にしながら、笑顔で仕事に取り組める職場環境づくりを進めます。
福祉子どもみらい局長	香川智佳子	私は、職員とのコミュニケーションを通じて、みんなの“自分の時間”と“仕事”がどちらも充実していくよう、福祉子どもみらい局で管理監督にあたるものたちとともに取り組みます。
健康医療局長	市川喜久江	私は、様々な機会を活用して働きかけを行うことで「イクボス」を増やし、「県民のいのちが輝き、笑顔あふれる健康長寿社会 神奈川」が実現するよう、全力で取り組みます。
産業労働局長	山田 健司	私は、企業等との対話を通じて、「イクボス」を増やすとともに働き方改革を促進し、すべての働く人が笑顔あふれ、いのちを輝かせることができる社会の実現に向けて全力で取り組みます。
県土整備局長	上前 行男	私は、県土整備局において「イクボス」を増やし、職員一人ひとりが生きがいと高いモチベーションを持って働き、活躍できる職場環境づくりに取り組みます。また、建設企業等とも連携しながら働き方改革を進め、「次世代に引き継げる持続可能で強靱な県土づくり」を目指します。
会計局長	小野 淳	私は、様々な機会を捉えて「イクボス」を増やすよう努め、ワーク・ライフ・バランスの推進による健全で元気な地域社会づくりに全力で取り組みます。
企業庁長	大竹 准一	そして、私は、「よき公務員」、「よき社会人」であるとともに、「よき家庭人」、「よき地域人」であることを誓います。そのために自ら率先し、仕事の効率化や人材の育成など「働き方改革」を進め、積極的に「家庭」や「地域社会」に関わっていける環境、様々なことにチャレンジし、豊かで複線的な生き方を選択できる環境づくりに努めます。私は、こうした「イクボス」の取組みを、県内企業や関係団体などに積極的に発信していきます。
企業局長	長谷川幹男	私は、企業庁のすべての管理監督者が「イクボス」となるよう呼びかけるとともに、「企業局働き方改革」の取組が確実に実践されるよう、自ら率先して働きやすい職場づくりに取り組みます。
議会局長	和泉 雅幸	私は、全ての職員の生き方の向上に配慮することにより、その効果が業務、地域社会、企業にまで波及することを目指し、その実現に全力で取り組みます。
教育長	桐谷 次郎	私は、県立学校長172人全員が、「イクボス」になるよう働きかけ、教職員が自分の家庭や地域を大切にしながら、学校現場では、全力で児童・生徒と向き合うことができる職場環境づくりに取り組みます。
教育局長	田中 和久	私は、「イクボス」として、教職員がワーク・ライフ・バランスを実現し、かながわらしい教育行政に、生き生きと携わることができる職場環境づくりに取り組みます。
人事委員会事務局長	川合 充	また、自らも、家族との時間も大切にしつつ、職員の皆さんとのコミュニケーションを深め、人事委員会事務局に勤務するすべての職員が、仕事と生活の双方を充実させられるよう配慮していきます。(2項目目以降)
監査事務局長	小島 泰	私は、監査事務局の「イクボス」として、ワーク・ライフ・バランスに配慮し、効率的かつ効果的な業務運営を図ることで、職員ひとり一人が仕事を通じて幸せを実感できる職場を実現します。(1項目目以降)
労働委員会事務局長	出口 満美	私は、「イクボス」として、職員と共に働き方改革を進めることで、職員ひとり一人が仕事に誇りを持ち、家族や地域社会と向き合えるよう、全力で取り組みます。
警察本部長	古谷 洋一	私は、職員一人一人のワークライフバランスを確保し、働きやすい職場環境づくりに努め、安全で安心して暮らせる神奈川の実現に全力で取り組みます。